

(様式第 9)



千大財第 4 4 6 号
平成 2 3 年 1 0 月 4 日

関東信越厚生局長 殿

国立大学法人千葉大学長
齋藤 厚

千葉大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)

2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)

3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	59	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	245人	366人	521.2人	看護補助者	3人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	24人	30.6人	理学療法士	13人	臨床検査技師	63人
薬剤師	42人	16人	57.8人	作業療法士	7人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	29人	3人	31.3人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	744人	40人	777.1人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	3人	3人	5.8人	栄養士	2人	その他の技術員	41人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯科技工士	0人	事務職員	234人
管理栄養士	7人	1人	8人	診療放射線技師	43人	その他の職員	19人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	682.9人	11.4人	694.3人
1日当たり平均外来患者数	1,909.7人	65.2人	1,974.9人
1日当たり平均調剤数	入院： 623.8 剤	外来： 492.0 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
顎顔面補綴	0人
神経芽腫の遺伝子検査	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療	11人
超音波骨折治療法	0人
インプラント義歯	0人
神経変性疾患の遺伝子診断	17人
経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	284人	・膿疱性乾癬	27人
・多発性硬化症	271人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	510人	・原発性胆汁性肝硬変	316人
・全身性エリテマトーデス	1374人	・重症急性膵炎	28人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	66人
・再生不良性貧血	128人	・混合性結合組織病	262人
・サルコイドーシス	601人	・原発性免疫不全症候群	21人
・筋萎縮性側索硬化症	58人	・特発性間質性肺炎	28人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	652人	・網膜色素変性症	386人
・特発性血小板減少性紫斑病	311人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	85人	・肺動脈性肺高血圧症	68人
・潰瘍性大腸炎	590人	・神経線維腫症	48人
・大動脈炎症候群	70人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	51人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	8人
・天疱瘡	135人	・慢性血栓栓性肺高血圧症	34人
・脊髄小脳変性症	242人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	203人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	18人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	325人
・悪性関節リウマチ	105人	・脊髄性筋萎縮症	44人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	579人	・球脊髄性筋萎縮症	25人
・アミロイドーシス	52人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	72人
・後縦靭帯骨化症	370人	・肥大型心筋症	181人
・ハンチントン病	14人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	49人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	158人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	11人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	42人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	94人	・黄色靭帯骨化症	69人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	8人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	748人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・膀胱水圧拡張術	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月5回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 29 例 / 部検率 8.80%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝細胞癌に対する血管新生阻害薬の治療効果予測因子の検討	横須賀 収	消化器内科	5,720,000円	補委 日本学術振興会科学研究費
アンドロジェン受容体トランスジェニックマウスによる非アルコール性脂肪肝の病態解明	今関文夫	消化器内科	1,430,000円	補委 日本学術振興会科学研究費
肝細胞癌の発生・進展の分子メカニズムの解明	金井文彦	消化器内科	1,560,000円	補委 日本学術振興会科学研究費
肝癌、膵癌におけるアンドロジェンレセプターシグナルの解析	神田達郎	消化器内科	1,690,000円	補委 日本学術振興会科学研究費
肝臓癌においてポリコム群遺伝子によって制御される新規癌抑制遺伝子の同定と解析	千葉哲博	消化器内科	1,560,000円	補委 日本学術振興会科学研究費
消化管癌遺伝子異常の網羅的解析	多田素久	消化器内科	2,210,000円	補委 日本学術振興会科学研究費
肺高血圧症治療における遺伝薬理学の応用	田邊信宏	呼吸器内科	1,500,000円	補委 文部科学省
COPDにおける全身性炎症の解析—喫煙が脂肪組織に誘導する炎症性反応について	笠原靖紀	呼吸器内科	1,300,000円	補委 文部科学省
特異性肺線維症急性増悪特異的自己抗体	黒須克志	呼吸器内科	900,000円	補委 文部科学省
上皮成長因子受容体下流シグナル系の個人差についての検索	滝口裕一	呼吸器内科	1,100,000円	補委 文部科学省
計算解剖モデルに基づく診断支援	滝口裕一	呼吸器内科	500,000円	補委 文部科学省
肺動脈原発血管内肉腫の発症機序解明および造血幹細胞分離・臨床応用への可能性	坂尾誠一郎	呼吸器内科	2,700,000円	補委 文部科学省
肺静脈閉塞症についての病理病態解明と診断基準確立のための研究	坂尾誠一郎	呼吸器内科	1,000,000円	補委 厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	1,500,000円	補委 厚生労働省
肥満・残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	巽浩一郎	呼吸器内科	800,000円	補委 厚生労働省
薬剤性肺障害における遺伝子マーカーに関する遺伝子学的検討等に係る研究	巽浩一郎	呼吸器内科	500,000円	補委 厚生労働省
リン酸化蛋白をターゲットとした膵・胆道癌の早期診断及び個別化治療への展開	宮崎 勝	肝胆膵外科	2,300,000円	補委 文部科学省
膵癌における癌幹細胞と間葉細胞の相互作用の解明とそれを応用した集学的治療法の開発	吉富秀幸	肝胆膵外科	2,500,000円	補委 文部科学省
プロテオームおよびメタボローム解析による過大侵襲時の免疫抑制機序の解明	木村文夫	肝胆膵外科	1,100,000円	補委 文部科学省
血管新生を制御する細胞間シグナル分子調節による抗腫瘍療法、及び肝再生促進の試み	清水宏明	肝胆膵外科	1,000,000円	補委 文部科学省
癌源細胞に基づく原発性肝癌の多様性とマイクロRNA制御による新規治療法の開発	大塚将之	肝胆膵外科	1,600,000円	補委 文部科学省
脂肪肝クワット適応拡大へのリン酸化シグナルの解明と血管内皮前駆細胞を応用した戦略	吉留博之	肝胆膵外科	1,500,000円	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
閉塞性黄疸肝における阻血再灌流障害後の肝組織リモデリングと再生シグナルの解明	加藤 厚	肝胆膵外科	800,000円	補委 文部科学省
肝移植後・大量肝切除後の肝再生促進と感染制御の研究、特に好中球機能からみた解析	竹内 男	肝胆膵外科	1,110,000円	補委 文部科学省
膵癌の新規腫瘍マーカーApoC-I蛋白の機能解析—分子標的療法開発へ向けて	須田浩介	肝胆膵外科	1,100,000円	補委 文部科学省
膵癌補助療法の個別化および分子標的治療を目指したAnnexin IIの臨床応用	高野重紹	肝胆膵外科	1,000,000円	補委 文部科学省
生体肝移植および肝切除の適応拡大のための過大肝再生誘導について	岡庭 輝	肝胆膵外科	1,400,000円	補委 文部科学省
粒子線治療有効性、適応性、費用対効果に関する総合的研究	宮崎 勝	肝胆膵外科	900,000円	補委 厚生労働省
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	宮崎 勝	肝胆膵外科	1,350,000円	補委 厚生労働省
放射線医学総合研究所 肝腫瘍臨床研究班班長	宮崎 勝	肝胆膵外科	300,000円	補委 放射線医学総合研究所
放射線医学総合研究所 肝腫瘍臨床研究班班員	吉留博之	肝胆膵外科	100,000円	補委 放射線医学総合研究所
放射線医学総合研究所 肝腫瘍臨床研究班班員	大塚将之	肝胆膵外科	100,000円	補委 放射線医学総合研究所
肝胆膵外科領域での高度侵襲手術に対する術前免疫栄養療法の確立に向けた研究	古川勝規	肝胆膵外科	1,000,000円	補委 平成22年度日本静脈経腸栄養学会研究助成金
癌転移臓器の幹細胞ニッチを標的としたホスト環境の外科的制御に関する基礎研究	榎原雅裕	乳腺・甲状腺外科	3,820,000円	補委 文部科学省
細胞内核害輸送阻害とエビシエンテイクス制御を標的とした消化器癌分子治療の開発	松原久裕	食道・胃腸外科	4,300,000円	補委 日本学術振興会
胃癌細胞における5-FU接触時のチミジル酸合成酵素制御機構と感受性への関与の解明	鍋谷圭宏	食道・胃腸外科	800,000円	補委 日本学術振興会
ヒートショックプロテインを用いた新規食道癌ワクチン療法の開発	阿久津 泰典	食道・胃腸外科	900,000円	補委 日本学術振興会
重粒子線がん治療臨床研究班 上部消化器腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	200,000円	補委 放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 下部消化管腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	100,000円	補委 放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 上部消化器腫瘍臨床研究班	阿久津泰典	食道・胃腸外科	100,000円	補委 放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 下部消化管腫瘍臨床研究班	宮内英聡	食道・胃腸外科	100,000円	補委 放射線医学総合研究所
食道癌に対する同種造血細胞移植後の免疫反応の標的抗原の解析	阿久津泰典	食道・胃腸外科	1,200,000円	補委 財団法人 がん研究振興財団
食道癌に対する新規癌抗原ペプチドを用いたワクチン療法の開発	松原久裕	食道・胃腸外科	1,000,000円	補委 東京大学医科学研究所
シスプラチン(CDDP)治療効果遺伝子診断キットの開発	松原久裕	食道・胃腸外科	1,500,000円(2年間で)	補委 高信化学
がん性疼痛などの緩和のための病態生理に基づいた新たな治療法の開発	西野 卓	麻酔科	2,000,000円	補委 厚生労働省
モルヒネ耐性の新たな分子機構の解析	青江知彦	麻酔科	3,600,000円	補委 文部科学省
化学シャペロンによる病態制御の検討	青江知彦	麻酔科	1,500,000円	補委 文部科学省

共同研究

共同研究

計47/138

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肥満睡眠時無呼吸患者の適切な周術期気道管理・呼吸管理に関する研究	磯野史朗	麻酔科	800,000円	補委 文部科学省
気道評価と気道管理、そのアウトカムに関する検討	石川輝彦	麻酔科	700,000円	補委 文部科学省
神経因性疼痛におけるモルヒネ抵抗性形成の分子機序の検討	土橋玉枝	麻酔科	1,600,000円	補委 文部科学省
疼痛と呼吸困難感の関係に関する研究	八代英子	麻酔科	1,900,000円	補委 文部科学省
進行性前立腺癌に対する分子マーカーの同定と癌進展の分子機構の解明	市川智彦	泌尿器科	3,700,000円	補委 日本学術振興会
限局性前立腺癌における予後予測因子としての新規バイオマーカーの開発	今本 敬	泌尿器科	1,400,000円	補委 日本学術振興会
前立腺癌におけるタリン1の機能解析およびテーラーメイド医療への応用	坂本 信一	泌尿器科	1,800,000円	補委 日本学術振興会
早期前立腺癌における根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	市川智彦	泌尿器科	300,000円	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	市川智彦	泌尿器科	250,000円	補委 厚生労働省
臨床試験研究経費 泌尿器腫瘍臨床研究班	市川智彦	泌尿器科	100,000円	補委 放射線医学総合研究所
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	山本 修一	眼科	3,000,000円	補委 厚生労働省
糖尿病網膜症の神経病変における小胞体ストレスの役割の解明	忍足 俊幸	眼科	2,080,000円	補委 文部科学省
VEGF-A165bによる脈絡膜血管新生抑制	馬場 隆之	眼科	1,534,000円	補委 文部科学省
非/低病原性腫瘍特異的感染ウイルス成分による癌明示システムの開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	8,580,000円	補委 文部科学省
microRNA阻害による放射線耐性遺伝子ICAM発現抑制による強化放射線治療法	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	1,500,000円	補委 文部科学省
独自開発癌特異的吸着性ハイブリッド型リポソームを用いた画像診断用強化造影剤の開発	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	10,790,000円	補委 文部科学省
口腔悪性腫瘍におけるmicro RNAの機能解析	椎葉 正史	歯科・顎・口腔外科	3,640,000円	補委 文部科学省
口腔癌における核内転写因子群Pax familyの総合的解析	小河原 克訓	歯科・顎・口腔外科	1,560,000円	補委 文部科学省
Lin7C-CASK-β cateninネットワーク制御による癌転移・浸潤抑制法	坂本 洋右	歯科・顎・口腔外科	3,640,000円	補委 文部科学省
口腔内消化の糖代謝制御における役割の解明	笠松 厚志	歯科・顎・口腔外科	1,235,000円	補委 文部科学省
クロウ・深瀬症候群に対する新規治療法の開発と病態解析	桑原聡	神経内科	780,000円	補委 日本学術振興会
過活動膀胱に対する低反応レベルレーザー照射療法の有効性の有無に関する検討	内山智之	神経内科	650,000円	補委 日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症のカリウムチャンネル機能障害と神経細胞死に関する生理学的研究	金井敬明	神経内科	910,000円	補委 日本学術振興会
胃電図を用いたパーキンソン病の超早期診断法の確立	朝比奈正人	神経内科	1,950,000円	補委 日本学術振興会
TDP-43過剰発現による孤発生ALSのサルモデル作製	桑原聡	神経内科	1,000,000円	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経原性慢性疼痛における軸索イオン電流測定:病態に基づく治療と客観的評価法の確立	三澤園子	神経内科	1,690,000円	補委 文部科学省
正常とパーキンソン病の高位排尿中枢の神経活動と神経伝達物質一脳深部刺激療法の効果	山本達也	神経内科	650,000円	補委 文部科学省
神経原性疼痛における軸索イオンチャネルレベルの病態解明と至適治療法の確立	磯瀬沙希里	神経内科	2,340,000円	補委 文部科学省
アクアポリン蛋白能動免疫による視神経脊髄炎モデルの開発	鷗沢顕之	神経内科	2,600,000円	補委 文部科学省
免疫性神経疾患に関する調査研究班	桑原聡	神経内科	1,200,000円	補委 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究班	桑原聡	神経内科	1,200,000円	補委 厚生労働省
運動失調症の病態解明と治療開発に関する研究班	桑原聡	神経内科	1,200,000円	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究班	朝比奈正人	神経内科	900,000円	補委 厚生労働省
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	桑原聡	神経内科	700,000円	補委 厚生労働省
Crow-Fukase症候群に対するサリドマイドの有効性を検討するためのプラセボ対照二重盲検	桑原聡	神経内科	90,366,000円	補委 厚生労働省
遺伝性女性化乳房の実態把握と診断基準の作成	生水 真紀夫	生殖機能病態学	19,500,000円	補委 厚生労働省
本邦における反復胎状奇胎症例の実態把握と確定診断法の開発	生水 真紀夫	生殖機能病態学	1,000,000円	補委 厚生労働省
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨床のデータに基づき、医薬品の催奇形性リスクの評価見直しに関する研究	生水 真紀夫	生殖機能病態学	1,000,000円	補委 厚生労働省
子宮体癌に対するメトホルミンの増殖抑制効果:作用機序の特定と臨床応用にむけた研究	三橋 暁	生殖機能病態学	1,170,000円	補委 文部科学省
マウス腎被膜下移植法によるヒト子宮内膜癌の新しい実験モデルの作製とその応用	加藤 一喜	婦人科	1,300,000円	補委 文部科学省
免疫染色による胎状奇胎妊娠後続発症リスクの評価	木原 真紀	婦人科	1,560,000円	補委 文部科学省
子宮頸部腺癌発癌過程においてエピジェネティックな遺伝子制御をうける遺伝子の探索	金谷 裕美	婦人科	2,080,000円	補委 文部科学省
腎被膜下移植法によるヒト子宮筋腫の新しい実験モデルの作成とその応用	石川 博士	生殖機能病態学	1,235,000円	補委 文部科学省
重粒子治療婦人科腫瘍臨床研究班	生水 真紀夫	生殖機能病態学	300,000円	補委 科学技術庁
卵巣子宮内膜症の癌化に関与する腫瘍間質細胞の役割解析	山澤 功二	婦人科	300,000円	補委 財団法人ちば県民保健予防財団
子宮筋腫の新規治療法開発を目的とした動物実験モデルの作製とその臨床応用	石川 博士	生殖機能病態学	270,000円	補委 財団法人ちば県民保健予防財団
再発卵巣がんに対するゲムシタピン+イリノテカン併用療法-臨床第Ⅰ/Ⅱ相試験	楯 真一	生殖機能病態学	1,000,000円	補委 財団法人ちば県民保健予防財団
神経芽腫のがん幹細胞を標的とする腫瘍溶解ウイルスを用いた新規治療開発研究	吉田英生	小児外科	1,000,000円	補委 文部科学省
増殖型HSV-1ベクターを用いた神経芽腫の新規治療法の開発研究	菱木知郎	小児外科	1,300,000円	補委 文部科学省
胆道閉鎖症におけるサイトカイン環境の解析	齋藤 武	小児外科	1,200,000円	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒルシユスブルング病の病類縁疾患の分子生物学的病因解明	佐藤嘉治	小児外科	900,000円	補委 文部科学省
日本小児肝がんグループによる小児肝がんの発生動向調査と国際共同研究基盤整備	菱木知郎	小児外科	200,000円	補委 文部科学省
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	吉田英生	小児外科	400,000円	補委 厚生労働省
肝癌の新規腫瘍マーカーApoC-1蛋白の機能解析—分子標的療法開発へ向けて	須田浩介	手術部	1,100,000円	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝移植後・大量肝切除後の肝再生促進と感染制御の研究特に好中球機能からみた解析	竹内 男	手術部	1,430,000円	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
大学病院総合診療外来におけるかかりつけ医導入効果の検討	高田俊彦	総合診療部	1,900,000円	補委 厚生労働省
平成22年度課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業「オンサイト用高感度インフ	佐藤武幸	感染症管理治療部	4,141,200円	補委 経済産業省
厚生労働省エイズ対策研究事業「国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治療方法の確立	佐藤武幸	感染症管理治療部	1,000,000円	補委 厚生労働省
今後の医学部入学生定員の在り方等の検討に際して必要な二次医療圏ごとの将来の必要医師数等に関する調査研	藤田伸輔	地域医療連携部	2,000,000円	補委 文部科学省
ICFを用いた病態評価	藤田伸輔	地域医療連携部	2,000,000円	補委 厚生労働科学研究費補助金
循環型地域医療連携バスの実践プログラム開発 平成22年度報告書	藤田伸輔	地域医療連携部	4,000,000円	補委 千葉県血清研究所記念保健医療福祉基金 事業助成研究
医薬品による胎児への致死的・重篤な有害事象の発現機序の究明	北田 光一	薬剤部	3,510,000円	補委 日本学術振興会
重篤かつ予測困難な抗血小板薬誘発肝障害を事前回避するシステムの基盤構築と運用	有吉 範高	薬剤部	2,080,000円	補委 日本学術振興会
治療抵抗性統合失調症患者における薬物血中濃度と臨床症状の相関検討	築地まり子	薬剤部	500,000円	補委 日本学術振興会
実践的な薬剤師育成を目指すための処方問題集の作成	小林 由佳	薬剤部	430,000円	補委 日本学術振興会
TPNのグルコース投与速度と肝機能障害の評価・検討	新井 健一	薬剤部	300,000円	補委 日本学術振興会
ST合剤内服薬による副作用発現に対する危険因子の検討と適正使用への貢献	林 彰子	薬剤部	300,000円	補委 日本学術振興会
持続血液ろ過透析患者におけるヘパロマイシンの薬物動態学的投与設計方法の開発	山形 真一	薬剤部	500,000円	補委 日本学術振興会
日本人におけるトブラマイシン母集団パラメータの算出	山崎 伸吾	薬剤部	570,000円	補委 日本学術振興会
FOLFIRI療法に対する経口アルカリ化剤と半夏瀉心湯の下痢予防効果の比較試験	山崎 香織	薬剤部	360,000円	補委 日本学術振興会
頭頸部癌への細胞免疫治療を用いたアジュバント療法のアプローチ	岡本美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	2,100,000円	補委 文部科学省
下咽頭癌の遠隔転移を引き起こす神経ペプチドシグナルの解明と治療への展開	花澤豊行	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	1,300,000円	補委 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌に対する抗腫瘍免疫応答を賦活する新規治療薬の開発	櫻井大樹	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	1,900,000円	補委 文部科学省
骨系成蛋白(BMP)を用いた中耳再建の研究	杉本晃	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	1,300,000円	補委 文部科学省
頭頸部癌のリンパ節転移に関するメカニズムの解明と治療への展開	茶菌英明	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	400,000円	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
好酸球性副鼻腔炎の病態機序解明に対する真菌を用いたアプローチと治療への展開	米倉修二	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	1,900,000円	補委 文部科学省
アレルギー病態発起における長期生存型抗体産生細胞の形成および維持機構の解明	稲嶺絢子	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	1,900,000円	補委 文部科学省
疾病予防のための呼吸センサーの活用	岡本美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	300,000円	補委 文部科学省
スギ花粉症に対する舌下免疫療法の有効性、効果予測法の確立研究	岡本美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	4,000,000円	補委 厚生労働省
ドコモ環境センサーによる花粉実測値およびオートGPS等位置情報を用いた花粉症	岡本美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	1,500,000円	補委 NTTドコモ
頭頸部癌に対する新規細胞免疫療法の確立	岡本美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	5,000,000円	補委 文部科学省(G-COE)
スギ花粉症に対する舌下免疫療法の研究	岡本美孝	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	3,000,000円	補委 文部科学省(地域イノベーション)
ゆかみ補正と画像融合法を応用した手術ナビゲーション法の開発と乳癌温存療法への応用	風間俊基	放射線科	1,560,000円(2年間)	補委 文部科学省科学研究費
若年者脳腫瘍の放射線治療に由来する母性行動の異常の解析と予防法の開発	宇野 隆	放射線科	3,250,000円(2年間)	補委 文部科学省科学研究費
損傷修復遺伝子抑制とクロマチン損傷解析による放射線感受性増強法の開発	川田哲也	放射線科	3,380,000円(3年間)	補委 文部科学省科学研究費
局所進行子宮頸癌の同時化学放射線療法における最適放射線治療スケジュールの開発	宇野 隆	放射線科	50,000円(2年間)	補委 文部科学省科学研究費
計算解剖モデルに基づくオートプシー・イメージング支援	下総良太	放射線科	500,000円(3年間)	補委 文部科学省科学研究費
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB) の構築と運用	宇野 隆	放射線科	400,000円(1年間)	補委 厚生労働省科学研究費
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	宇野 隆	放射線科	1,500,000円(2年間)	補委 厚生労働省科学研究費
安全で高精度な放射線治療を実現する放射線治療体制に関する研究	上野直之	放射線科	2,000,000円(2年間)	補委 厚生労働省科学研究費
放射線医学と数理科学の協働による高度臨床診断の実現	植田琢也	放射線科	2,500,000円(1年間)	補委 科学芸術振興機構

計138/138

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Human Genetics	Susceptibility to chronic thromboembolic pulmonary hypertension may be conferred by miR-759 via its targeted interaction with polymorphic fibrinogen alpha gene.	Tanabe N	呼吸器内科
Am J Respir Crit Care Med	Inhaled granulocyte/macrophage-colony stimulating factor as therapy for pulmonary alveolar proteinosis.	Kasahara Y	呼吸器内科
Jpn J Clin Oncol	Radiation pneumonitis following twice-daily radiotherapy with concurrent carboplatin and paclitaxel in patients with stage III non-small-cell lung cancer.	Takiguchi Y, Tatsumi K	呼吸器内科
Eur Respir J	Pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis	Tatsumi K	呼吸器内科
Cancer Gene Ther.	Combinatory cytotoxic effects produced by E1B-55kDa-deleted adenoviruses and chemotherapeutic agents are dependent on the agents in esophageal carcinoma.	Tatsumi K	呼吸器内科
Surg Today.	Efficacy of perioperative administration of long-acting bronchodilator on postoperative pulmonary function and quality of life in lung cancer patients with chronic obstructive pulmonary disease. Preliminary results of a randomized control study.	Takiguchi Y, Tatsumi K	呼吸器内科
Am J Respir Cell Mol Biol	Vascular remodeling in pulmonary arterial hypertension: multiple cancer-like pathways and possible treatment modalities.	Sakao S	呼吸器内科
Jpn J Clin Physiol	Early detection of COPD in patients with dyspnea on exertion in general practice.	Tatsumi K.	呼吸器内科
Internal Medicine	Juvenile pulmonary hypertension associated with fibromuscular dysplasia.	Kasahara Y	呼吸器内科
Internal Medicine	A case of the isolated peripheral pulmonary artery branch stenosis associated with multiple pulmonary artery aneurysms.	Sakao S	呼吸器内科
肺癌	ラブドイド形質を伴った肺腫瘍の1例.	多田裕司	呼吸器内科
日サ会誌	メトレキサート単剤治療が有効であったサルコイドーシスの2症例.	巽浩一郎	呼吸器内科
気管支学	8年間の慢性咳嗽を呈した気管原発腺様嚢胞癌の1例.	黒田文伸	呼吸器内科
日呼吸会誌	胸腺大細胞神経内分泌癌の1例.	黒田文伸	呼吸器内科
日呼吸会誌	良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚の1剖検例.	黒田文伸	呼吸器内科
日呼吸会誌	化学療法が奏功した多発性内分泌腺腫1型(MEN1)合併胸腺カルチノイドの1例.	黒田文伸	呼吸器内科
日呼吸会誌	長期間気管支喘息として診断されていた慢性血栓性肺高血圧症の1手術著効例.	田邊信宏	呼吸器内科
Therapeutic Research	慢性血栓性肺高血圧(CTEPH)症例におけるマルチスライスCT(MSCT)による卵円孔開存検出の意義, 奇異性脳梗塞発症への影響.	田邊信宏	呼吸器内科
分子呼吸器病	呼吸器疾患治療に関する最新の臨床試験レポート-COPD.	巽浩一郎	呼吸器内科
日医雑誌	COPDの診療update. 新ガイドラインからみたCOPDの薬剤選択.	巽浩一郎	呼吸器内科
日本内科学会雑誌	医学と医療の最前線. COPDに対する総合的な対策	巽浩一郎	呼吸器内科
Physicians' Therapy Manual	COPD(慢性閉塞性肺疾患)の治療-ガイドラインを踏まえて-	巽浩一郎	呼吸器内科
日呼吸会誌	肺動脈性肺高血圧症(PAH)および慢性血栓性肺高血圧症(CTEPH).	巽浩一郎	呼吸器内科
日本医事新報	COPD患者は動くことが重要.	巽浩一郎	呼吸器内科
呼吸	呼吸器系特定疾患をめぐって	巽浩一郎	呼吸器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
呼吸	動脈性肺高血圧症の薬物治療の新展開	巽浩一郎	呼吸器内科
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	COPD増悪予防の新展開.	巽浩一郎	呼吸器内科
Prog Med	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するエボプロステノールの使用経験.	田邊信宏	呼吸器内科
医学のあゆみ	慢性血栓塞栓性肺高血圧症の病態解明と治療の進歩.	田邊信宏	呼吸器内科
Research Signpost	Current gene therapt for head and neck cancer.	Tada Y.	呼吸器内科
Research Signpost	Climical application of ONYX-015 oncolytic adenoviruses for cancer therapy.	Tada Y.	呼吸器内科
J Hepatobiliary Pancreat Sci	One hundred seven consecutive surgical resections for hilar cholangiocarcinoma of Bismuth types II, III, IV between 2001 and 2008	Miyazaki M,	肝胆膵外科
Surg Today	Immunosuppression following surgical and traumatic injury	Kimura F	肝胆膵外科
Hepatogastroenterology	Effects of partial hepatic venous congestion on hepatic hemodynamics and histology	Okuno A	肝胆膵外科
Ann Surg	Aggressive surgical resection for hilar cholangiocarcinoma of the left side predominance: radicality and safety of left-sided	Shimizu H	肝胆膵外科
Surgery	Hepatocyte nuclear factor-kappa B (NF-κB) activation is protective but is decreased in the cholestatic liver with endotoxemia	Iida A	肝胆膵外科
J Surg Res	Interleukin-18 exacerbates pulmonary injury after hepatic ischemia/reperfusion in mice	Takeuchi D	肝胆膵外科
J Surg Res	Endothelin-1 aggravates hepatic ischemia/reperfusion injury during obstructive cholestasis in bile duct ligated mice	Nagai H	肝胆膵外科
Br J Cancer	Increased circulating cell signalling phosphoproteins in sera are useful for the detection of pancreatic cancer	Takano S	肝胆膵外科
Cancer Chemother Pharmacol	Expression of an activated mammalian target of rapamycin (mTOR)in gastoroenteropancreatic neuroendocrine tumors	Shida T	肝胆膵外科
Surgery	Effects of perioperative immunonutrition on cell-mediated immunity, T helper type 1 (Th1)/Th2 differentiation, and Th17 response after pancreaticoduodenectomy	Suzuki D	肝胆膵外科
Breast Cancer	Tumor reduction rate predicts early recurrence in patients with breast cancer failing to achieve complete response to primary chemotherapy.	Nagashima T	乳腺・甲状腺外科
Acta Radiol	Response Rate to Neoadjuvant Chemotherapy Measured on Imaging Predicts Early Recurrence and Death in Breast Cancer Patients with Lymph Node Involvements.	Nagashima T	乳腺・甲状腺外科
J Cancer Res Clin	Identification of vitronectin as a novel serum marker for early breast cancer detection using a new proteomic approach.	Kadowaki M	乳腺・甲状腺外科
Int J Cancer. 2010;127(12):2804-2814.	miR-145, miR-133a and miR-133b: Tumor-suppressive miRNAs target FSCN1 in esophageal squamous cell carcinoma.	Kano M	食道・胃腸外科
World J Gastrointest Endosc. 2010;2(10):349-351.	Postoperative recurrence of an IPMN of the pancreas with a fistula to the stomach.	Uesato M	食道・胃腸外科
Surg Today. 2010;40(9):809-815.	Recent advances in histone deacetylase targeted cancer therapy.	Hoshino I	食道・胃腸外科
Hepatogastroenterology. 2010;57(99-100):468-471.	Evaluation of ulcerative colitis using diffusion-weighted imaging.	Aoyagi T	食道・胃腸外科
Dig Surg. 2010;27(4):253-260.	Role of perfusion CT in assessing tumor blood flow and malignancy level of gastric cancer.	Satoh A	食道・胃腸外科
Am J Gastroenterol. 2010;105(7):1677-1678.	Appendicitis caused by an endoluminal clip.	Hoshino I	食道・胃腸外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastric Cancer. 2010;13(2):84-89.	Salivary amylase activity is useful for assessing perioperative stress in response to pain in patients undergoing endoscopic submucosal dissection of gastric tumors under deep sedation.	Uesato M	食道・胃腸外科
Surgery. 2010;147(4):497-502.	1. Pre-operative dental brushing can reduce the risk of postoperative pneumonia in esophageal cancer patients.	Akutsu Y	食道・胃腸外科
Ann Surg Oncol. 2011;18(3):832-837.	Correlation between gp96 expression and the surgical outcome in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Akutsu Y	食道・胃腸外科
日本外科学会雑誌 2010, 111(6):358-362.	消化器外科における栄養管理の現状と展望 5.各種病態における術前・術後栄養管理 a)上部消化管疾患.	松原久裕	食道・胃腸外科
千葉医学雑誌 2010, 86(5):191-196.	胃粘膜下腫瘍に対する単孔式内視鏡手術の安全な導入に向けて-術前3Dシミュレーション画像と今後の展望-	夏目俊之	食道・胃腸外科
千葉医学雑誌 2010, 86(6): 213-218.	腹腔鏡補助下腹会陰式直腸切除術における人工肛門造設路の工夫.	星野敢	食道・胃腸外科
癌と化学療法 2010, 37(12):2409-2411.	食道癌肝転移に対する少量5-FU動注療法.	首藤潔彦	食道・胃腸外科
分子細胞治療フロンティア2010, 外科分子細胞治療研究会編, 飯田橋パピルス, 東京, 2010:187-196.	CHAPTER 5. 癌分子標的 3.食道癌におけるHDAC inhibitorを用いた新たな治療戦略.	星野敢	食道・胃腸外科
麻酔	麻酔管理に役立つ呼吸生理	西野 卓	麻酔疼痛緩和医療科
Anesthesiology	Case scenario:perioperative airway management of a patient with tracheal stenosis	Shiroh Isono	麻酔疼痛緩和医療科
日本臨床麻酔学会誌	麻酔科医が知ってほしい睡眠時呼吸異常の基礎と周術期管理	磯野史朗	麻酔疼痛緩和医療科
Pain	Comparison of pain and dyspnea perceptual responses in healthy subjects	Takashi Nishino	麻酔疼痛緩和医療科
Journal of Anesthesia	Dyspnea and its interaction with pain	Takashi Nishino	麻酔疼痛緩和医療科
Neuroscience Letter	Valproate attenuates the development of morphine antinociceptive tolerance	Tomohiko Aoe	麻酔疼痛緩和医療科
Journal of Cellular and Molecular Medicine	BiP, an endoplasmic reticulum chaperone, modulates the development of morphine antinociceptive tolerance	Tomohiko Aoe	麻酔疼痛緩和医療科
Jpn J Clin Oncol.	Implications of Body Mass Index in Japanese Patients with Prostate Cancer Who Had Undergone Radical Prostatectomy.	Komaru A	泌尿器科
Int J Urol.	Clinical effect of naftopidil on the quality of life of patients with lower urinary tract symptoms suggestive of benign prostatic hyperplasia: a prospective study.	Komiya A	泌尿器科
Urol Int.	Influence of visceral obesity on oncologic outcome in patients with renal cell carcinoma.	Naya Y	泌尿器科
Int J Urol.	Treatment outcomes of sorafenib for first line or cytokinerefractory advanced renal cell carcinoma in Japanese patients.	Ueda T	泌尿器科
Urology	External validation of a nomogram predicting the probability of Prostate Cancer Gleason Sum Upgrading Between Biopsy and Radical Prostatectomy Pathology Among Japanese Patients.	Imamoto T	泌尿器科
Urology	Implications of serum bone turnover markers in prostate cancer patients with bone metastasis.	Kamiya N	泌尿器科
J Endourol.	Surgical navigation using three-dimensional computed tomography images fused intraoperatively with live video.	Nakamura K	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neoplasia.	RIG-I helicase-independent pathway in sendai virus-activated dendritic cells is critical for preventing lung metastasis of AT6.3 prostate cancer.	Kato T	泌尿器科
Mol Aspects Med.	Targeting anoikis resistance in prostate cancer metastasis.	Sakamoto S	泌尿器科
Diabetes Res Clin Pract	Transcription factor, SP-1, in epiretinal membranes of patients with proliferative diabetic retinopathy	Oshitari T	眼科
Curr Diab Review	Coherence tomography for complete management of patients with diabetic retinopathy	Oshitari T	眼科
Brain Res	Effect of neurotrophic factors on neuronal apoptosis and neurite regeneration in cultured rat retinas exposed to high-glucose	Oshitari T	眼科
Clin Ophthalmol	Case of primary diffuse large B cell lymphoma of lacrimal sac with chronic course	Oshitari T	眼科
Clin Ophthalmol	Relationship between chronic sclerosing dacryoadenitis with high level of IgG4 and castleman disease	Oshitari T	眼科
Invest Ophthalmol	Paracrine modulation of CXCR4 by IGF-1 and VEGF: Implications for choroidal neovascularization	Baba T	眼科
Br J Ophthalmol	Two-year comparison of photodynamic therapy and intravitreal bevacizumab for treatment of myopic choroidal neovascularization	Baba T	眼科
Am J Pathol	A rat model for choroidal neovascularization using subretinal lipid hydroperoxide injection	Baba T	眼科
Exp Eye Res	Immunohistochemical localization of low density lipoprotein receptor-related protein 1 and α 2-macroglobulin in human retinal and choroidal tissue of proliferative retinopathies	Baba T	眼科
Clin Ophthalmol	Case of primary diffuse large B cell lymphoma of lacrimal sac in a Japanese patient	Baba T	眼科
Eye	Relationship between peripheral visual field loss and vision-related quality of life in patients retinitis pigmentosa	Sugawara T	眼科
Acta Ophthalmol	Macular abnormalities in patients with retinitis pigmentosa: prevalence on OCT examination and outcomes of vitreoretinal surgery	Yamamoto S	眼科
あたらしい眼科	マイクロペリメトリー(MP1)の有用性について教えてください。網膜の検査。	菅原 岳史	眼科
眼のサイエンス-視覚の不思議-	ヒトの中心窩が眼球中心の水平面より0.5ミリ程度わずかに下方にあるのはなぜか？	菅原 岳史	眼科
網膜脈絡膜・視神経委縮症に関する調査研究・平成21年度総括・分担研究報告書	高濃度グルコース誘導神経細胞死における神経保護因子の救済効果の検討	忍足 俊幸	眼科
Br J Cancer	miR-489 is a tumour-suppressive miRNA target PTPN11 in hypopharyngeal squamous cell carcinoma (HSCC)	Kikkawa,N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Allergol	Sublingual immunotherapy with house dust extract for house dust-mite allergic rhinitis in children	Yonekura,S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Auris Nasus Larynx	A randomized, double-blind, placebo-controlled study of Ten-Cha (Rubus suavissimus) on house dust mite allergic rhinitis.	Yonekura,S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Allergy Asthma Proc	Reevaluation of pollen quantitation by an automatic pollen counter.	Muradil,M	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Immunol Immunother	The effect of radiotherapy on NKT cells in patients with advanced head and neck cancer.	Kobayashi,K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clinical Immunology.	Induction of NKT cell-specific immune responses in cancer tissues after NKT cell-targeted adoptive immunotherapy	Yamasaki,K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Immunology and Immunotherapy.	Migration and immunological reaction after the administration of α GalCer-pulsed antigen-presenting cells into the submucosa of patients with head and neck cancer.	Kurosaki,M.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clin. Immunol.	Increase of regulatory T cells and the ratio of specific IgE to total IgE are candidates for response monitoring or prognostic biomarkers in two-year sublingual immunotherapy (SLIT) for Japanese cedar pollinosis.	Fujimura, T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Allergy. Immunol	he induced regulatory T-cell level, defined as the proportion of IL10+Foxp3+ cells among CD25+CD4+ leukocytes, is an available therapeutic biomarker for sublingual immunotherapy: A preliminary report.Int. Arch. Allergy.	Fujimura,T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
head and neck squamous cell carcinoma	Caveolin-1 mediates tumor cell migration and invasion and its regulation by miR-133a	Nohata,N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Otology Japan	モルモット側頭骨欠損部の再建に対し骨形成蛋白を用いた検討	杉本晃	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Cancer. 2010 Jan 15;126(2):437-49.	Identification of cisplatin-resistance related genes in head and neck squamous cell carcinoma.	Yamano Y	歯科・顎・口腔外科
Oncol Rep. 2010 Jan;23(1):61-7.	State of homeobox A10 expression as a putative prognostic marker for oral squamous cell carcinoma.	Yamatoji M	歯科・顎・口腔外科
J Cancer Res ClinOncol. 2010 Apr;136(4):553-9.	Expression status of Zic family member 2 as a prognostic marker for oral squamous cell carcinoma.	Sakuma K	歯科・顎・口腔外科
Oncol Rep. 2010 Jul;24(1):241-9.	Down-regulated expression of SERPIN genes located on chromosome 18q21 in oral squamous cell carcinomas.	Shiiba M	歯科・顎・口腔外科
PLoS One. 2010 Nov 29;5(11):e14082.	Epithelial cell transforming sequence 2 in human oral cancer.	Iyoda M	歯科・顎・口腔外科
Clin Neurophysiol	It's not the end; physiologic assessment of E-C coupling of muscle.	Kuwabara S.	神経内科
J Physiol	Inward rectifying channels as new targets for treatment.	Kuwabara S.	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Axonal Guillain-Barre syndrome is underestimated in Europe?	Kuwabara S.	神経内科
Mov Disord	Genitourinary dysfunction in Parkinson's disease.	Sakakibara R	神経内科
Neurology	Emerging in vivo evidence of subcortical cholinergic dysfunction in Parkinsonian syndromes.	Shinotoh H	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Does Campylobacter jejuni infection elicit axonal or demyelinating Guillain-Barre syndrome, or both?	Kuwabara S.	神経内科
Curr Treat Options Neurol	Fisher syndrome.	Mori M	神経内科
Am J Phys Med Rehabil	Cardiovascular response during aquatic exercise in patients with osteoarthritis.	Asahina M	神経内科
Auton Neurosci	Spectral analysis of heart rate variability in patients with Machado-Joseph disease.	Asahina M	神経内科
Brain	Cholinergic imaging in corticobasal syndrome, progressive supranuclear palsy and frontotemporal dementia.	Hirano S	神経内科
Clin Neurophysiol	Mexiletine suppresses nodal persistent sodium currents in sensory axons of patients with neuropathic pain.	Isose S	神経内科
J Peripher Nerv Syst	Long-term regular plasmapheresis as a maintenance treatment for chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	Isose S	神経内科
Lancet Neurol	Efficacy and safety of leuprorelin in patients with spinal and bulbar muscular atrophy (JASMITT study): a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled trial.	Katsuno M	神経内科
Clin Neurol Neurosurg	Spinal myoclonus in the periscapular muscles after mastectomy assessed by FDG-PET.	Misawa S	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Neuropharmacol	Estimation of plasma IC50 of donepezil for cerebral acetylcholinesterase inhibition in patients with Alzheimer disease using positron emission tomography.	Ota T	神経内科
Mov Disord	Multiple-system atrophy presenting with low rectal compliance and bowel pain.	Sakakibara R	神経内科
Mov Disord	Dentatorubral pallidoluysian atrophy presenting with urinary retention.	Sakakibara R	神経内科
LUTS	Influence of body position on defecation in humans.	Sakakibara R	神経内科
Neurourol Urodyn	Real-time measurement of oxyhemoglobin concentration changes in the frontal micturition area: an fNIRS study.	Sakakibara R	神経内科
Lancet Neurol	Cilostazol for prevention of secondary stroke (CSPS 2): an aspirin-controlled, double-blind, randomised non-inferiority trial.	Shinohara Y	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Is tongue atrophy reversible in anti-MuSK myasthenia gravis? Six-year observation.	Takahashi H	神経内科
Intern Med	Herbal medicine-induced meningitis-retention syndrome.	Takahashi O	神経内科
Mult Scler	Cytokine and chemokine profiles in neuromyelitis optica: significance of interleukin-6.	Uzawa A	神経内科
Eur J Neurol	Different responses to interferon beta-1b treatment in patients with neuromyelitis optica and multiple sclerosis.	Uzawa A	神経内科
BMC Neurol	Expression of chemokine receptors on peripheral blood lymphocytes in multiple sclerosis and neuromyelitis optica.	Uzawa A	神経内科
Int J Urol	Efficacy of extended-release tolterodine for the treatment of neurogenic detrusor overactivity and/or low-compliance bladder.	Watanabe M	神経内科
LUTS	Effects of Silodosin on Lower Urinary Tract Symptoms in Patients with Benign Prostatic Hyperplasia: Evaluation by Frequency/Volume Chart.	Watanabe M	神経内科
Intern Med	B cell aplasia and hypogammaglobulinemia after carbamazepine treatment.	Yamamoto T	神経内科
J Alzheimers Dis	Anti-inflammatory action of donepezil ameliorates tau pathology, synaptic loss, and neurodegeneration in a tauopathy mouse model.	Yamamoto T	神経内科
J Neurol	Flexion-induced cervical myelopathy associated with fewer elastic fibers and thickening in the posterior dura mater.	Yamamoto T	神経内科
Clin Neurol Neurosurg	Sensorimotor manifestations without autonomic symptoms in two sibs with TTR Val107 familial amyloid polyneuropathy.	Asahina M	神経内科
J Neurol Sci	Involvement of pontine transverse and longitudinal fibers in multiple system atrophy: A tractography-	Makino T	神経内科
Neuroimage	Parkinson's disease tremor-related metabolic network: characterization, progression, and treatment effects.	Mure H	神経内科
J Neurol Sci	Distal motor axonal dysfunction in amyotrophic lateral sclerosis.	Noto Y	神経内科
Amyotroph Lateral Scler	Elevated CSF TDP-43 levels in amyotrophic lateral sclerosis: Specificity, sensitivity, and a possible prognostic value.	Noto Y	神経内科
Clin Neurophysiol	Altered axonal excitability properties in juvenile muscular atrophy of distal upper extremity (Hirayama disease).	Sawai S	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Isolated abducens and facial nerve palsies due to a facial collicular plaque in multiple sclerosis.	Uzawa A	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
NeuroUrol Urodyn	Pelvic organ dysfunction is more prevalent and severe in MSA-P compared to Parkinson's disease.	Yamamoto T	神経内科
難病と在宅ケア	【多系統萎縮症(MSA)の対処療法】 排尿機能障害への対処法.	朝比奈正人	神経内科
臨床検査	【排尿障害】 排尿機能検査 括約筋筋電図.	内山智之	神経内科
自律神経	親しみやすい、わかりやすい自律神経機能検査の解説 排尿機能検査.	内山智之	神経内科
内科	【免疫性神経疾患 新たな治療戦略に向けて】 神経筋接合部における自己免疫疾患 重症筋無力症の診断・治療.	川口直樹	神経内科
臨床脳波	イオンチャネルの臨床神経生理学 基礎編.	桑原 聡	神経内科
臨床脳波	入門講座 イオンチャネルの臨床神経生理学 応用編.	桑原 聡	神経内科
臨床神経学	難治性末梢神経障害の治療の進歩と展望 免疫性ニューロパチーとCrow-Fukase症候群を中心に.	桑原 聡	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	【傍腫瘍性神経筋疾患update】 Crow-Fukase症候群.	桑原 聡	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	神経生理学からみたALSの病態と治療展望.	桑原 聡	神経内科
内科	【免疫性神経疾患 新たな治療戦略に向けて】 代表的な末梢神経の自己免疫疾患 Guillain-Barre症候群・Fisher症候群の診断・治療.	桑原 聡	神経内科
からだの科学	【神経内科の病気のすべて】 末梢神経疾患・筋疾患 末梢神経疾患の治療 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー.	桑原 聡	神経内科
Clinical Neuroscience	知って得する最新情報 サリドマイドと神経疾患治療.	桑原 聡	神経内科
日本内科学会雑誌	【膠原病に伴う神経・筋障害 診断と治療の進歩】 膠原病・類縁疾患に伴う神経・筋障害の診断と治療 全身性エリテマトーデス.	桑原 聡	神経内科
日本内科学会雑誌	免疫性末梢神経障害の病態と治療 Guillain-Barre症候群を中心に.	桑原 聡	神経内科
末梢神経	上肢の筋萎縮性疾患へのアプローチ: 解離性小手指筋萎縮に注目して.	桑原 聡	神経内科
臨床神経学	<Education program 4>Crow-Fukase症候群の新規治療展望.	桑原 聡	神経内科
Clinical Neuroscience	Voxel-based morphometry.	島田 斉	神経内科
MDSJ Letters	神経機能画像を通して知る脳内コリン神経系.	平野成樹	神経内科
神経内科	【てんかんのトピックス】 てんかんの経頭蓋磁気刺激治療.	三澤園子	神経内科
神経治療学	神経治療学のブレークスルー 神経疾患の新規治療 Crow-Fukase症候群に対するthalidomide療法と移植療法 稀少疾病における治療エビデンスの確立をめざして.	三澤園子	神経内科
臨床脳波	【糖尿病末梢神経障害】 高血糖と軸索興奮性 軸索イオンチャネル機能測定法の臨床応用.	三澤園子	神経内科
臨床神経生理学	筋電図・神経伝導検査の基礎シリーズ(検査編) 神経伝導検査 原理と基本 明日からできる神経伝導検査.	三澤園子	神経内科
自律神経	親しみやすい、わかりやすい自律神経機能検査の解説 脈波と交感神経性皮膚反応.	山中義崇	神経内科
臨床検査	【排尿障害】 神経障害の部位と排尿障害.	山本達也	神経内科
脳卒中	発症時軽症の進行型脳梗塞 進行症例の特徴に関する検討.	赤荻悠一	神経内科
Clinical Neurology Today	未治療のパーキンソン病患者の排尿障害の特徴とレボドパ反応性.	内山智之	神経内科
自律神経	日本人健常高齢者における心拍変動に対する加齢と性差の影響	片桐 明	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床	Birt-Hogg-Dube症候群.	古賀俊輔	神経内科
末梢神経	慢性脱髄性多発神経根炎 (CIDP) の神経伝達検査における回復指標の検討.	能登祐一	神経内科
日本整形外科看護研究会誌	【変形性膝関節症】 関節痛に対する灸治療.	村上えい子	神経内科
神経治療学	β 遮断薬が有効であった急性汎自律神経異常症後の体位性頻脈症候群例.	朝比奈正人	神経内科
臨床神経学	緩徐進行性経過中に亜急性増悪を呈した遠位対称型慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー (DADS) の1例 臨床病型の移行に注目して.	澁谷和幹	神経内科
Current Topics in Steroid Therapy	Steroid therapy in the treatment of myasthenia gravis.	Kawaguchi N	神経内科
Current Trends in Neurology	Calcineurin inhibitors in the treatment of myasthenia gravis.	Kawaguchi N	神経内科
Autoimmune Diseases: Symptoms, Diagnosis and Treatment.	Clinical features of axonal Guillain-Barré syndrome.	Hiraga A	神経内科
The Encyclopedia of Movement Disorders.	PET imaging in Movement Disorders.	Hirano S	神経内科
European Neurological Review (volume 4) Imaging	Progressive supranuclear palsy and diffusion tensor imaging.	Ito S	神経内科
Annual Review神経2011	本年の動向 サリドマイドと神経治療.	桑原 聡	神経内科
Hum Reprod	The risk of post-molar gestational trophoblastic neoplasia is higher in heterozygous than in homozygous complete hydatidiform moles	Baasanjav B	生殖機能病態学
Endocrinology	Progesterone is essential for maintenance and growth of uterine leiomyoma	Ishikawa H	生殖機能病態学
Anticancer Res	Postoperative concurrent daily low-dose cisplatin-based chemoradiation improves the prognosis of patients with pathologic T2b or N1 cervical cancer	Mitsubishi A	生殖機能病態学
Reprod Sci	LAT1 Regulates Growth of Uterine Leiomyoma Smooth Muscle Cells	Ishikawa H	生殖機能病態学
Endocrinology	Insulin-like growth factor I enhances the expression of aromatase P450 by inhibiting autophagy	Shozu M	生殖機能病態学
Obstet Gynecol	Molecular Distinction of Consecutive Molar Pregnancies	Usui H	生殖機能病態学
Oncotarget	miR-1 as a tumor suppressive microRNA targeting TAGLN2 in head and neck squamous cell carcinoma	Shozu M	生殖機能病態学
Acta Cytol	Cytologic findings of low grade endometrial stromal sarcoma with sex cord-like differentiation: a case report	Shozu M	生殖機能病態学
Medical Technology	婦人科疾患におけるホルモン療法	生水真紀夫	生殖機能病態学
産婦人科治療	【産婦人科救急のすべて】産婦人科救急に必要な基本手技帝王切開術	生水真紀夫	生殖機能病態学
医学のあゆみ	【最新G蛋白質共役受容体研究 疾患解明とシグナル制御の新時代】受容体機能のあらたな展開 内分泌 変異Gn-RH受容体とゴナドトロピン単独欠損症	碓井 宏和	生殖機能病態学
産科と婦人科	【子宮内膜症合併不妊の治療法】妊孕性向上のための内膜症治療 子宮内膜症治療とアロマターゼ阻害剤	生水真紀夫	生殖機能病態学
周産期学シンポジウム	周産期と医療安全 周産期医療システムと医療安全 大学病院における緊急帝王切開“30分ルール”への挑戦	鶴岡 信栄	生殖機能病態学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本病理学会会誌	診断に苦慮したfemale adnexal tumor of probable wolffian origin(FATWO)の1例	山澤 功二	生殖機能病態学
日本臨床細胞学会雑誌	日母分類とベセスダシステム2001の比較検討 日母分類クラスIIIaとASC-US	錦見 恭子	生殖機能病態学
周産期学シンポジウム	周産期医療システムと医療安全 大学病院における緊急帝王切開“30分ルール”への挑戦	鶴岡 信栄	生殖機能病態学
日本医師会雑誌	特集 妊娠女性の高齢化と周産期に増えるリスク: 卵子agingとメカニズム	生水真紀夫	生殖機能病態学
産婦人科の実際	胞状奇胎後の妊娠	碓井 宏和	生殖機能病態学
J Pediatr Surg	Reevaluation of trkA expression as a biological marker of neuroblastoma by high sensitivity expression analysis—a study of 106 primary neuroblastomas treated in a single institute	Hishiki T	小児外科
Transplant Proc	Living-donor liver transplantation in 126 patients with biliary atresia: single-center experience	Saito T	小児外科
Pediatr Surg Int	Pancreas divisum in pancreaticobiliary maljunction in children	Yoshida H	小児外科
Pediatr Surg Int	Influence of fetal stabilization on postnatal status of patients with congenital diaphragmatic hernia	Yoshida H	小児外科
J Pediatr Surg	Kaposiform hemangioendothelioma of the choledochus	Yoshida H	小児外科
臨床栄養	短腸症候群とHPN	吉田英生	小児外科
外科と代謝・栄養	小児短腸症候群における栄養管理を中心とした治療戦略.	吉田英生	小児外科
栄養—評価と治療	小児の中心静脈栄養: 投与量	吉田英生	小児外科
小児外科	【The operation 手術基本手技: その極意とコツ】糸の種類と選択	菱木知郎	小児外科
日小児会誌	日本における小児肝腫瘍治療の現況	菱木知郎	小児外科
小児外科	先天性胆道拡張症における三次元胆道画像と仮想胆道鏡	齋藤 武	小児外科
小児内科	特集小児科医が知っておきたい境界領域疾患 急性虫垂炎	佐藤嘉治	小児外科
小児外科	腹壁破裂に対する多段階式腹壁閉鎖における臍帯温存手術.	齋藤 武	小児外科
ナーズの外科学 改訂5版(磯野可一編著)	小児外科	吉田英生	小児外科
小児生体肝移植 第1版(河原崎秀雄編)	成長障害	齋藤 武	小児外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Magnetic resonance imaging of hepatocellular carcinoma: a pictorial review of novel insights into pathophysiological features revealed by magnetic resonance imaging.	Shimofusa R	放射線部
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	A pictorial review of benign hepatocellular nodular lesions: comprehensive radiological assessment incorporating the concept of anomalous portal tract syndrome.	Ueda T	放射線科
Eur J Radiol	Dual-time point scanning of integrated FDG PET/CT for the evaluation of mediastinal and hilar lymph nodes in non-small cell lung cancer diagnosed as operable by contrast-enhanced CT.	Kasai T	放射線科
Thermal. Med.	Effect of an ATM kinase inhibitor on thermo- and/or radio-sensitization in non-proliferating normal human fibroblasts and osteosarcoma cells.	Inoue K	放射線科
J. Radiat. Res.	Fractionated stereotactic radiotherapy as a boost treatment for tumors in the head and neck region.	Uno T	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Radiat. Res.	Fractionated stereotactic radiotherapy as a boost treatment for tumors in the head and neck region.	Uno T	放射線科
Jpn. J. Clin. Oncol.	Radiation pneumonitis following twice-daily radiotherapy with concurrent carboplatin and paclitaxel in patients with stage III non-small-cell lung cancer.	Kobayashi H	放射線科
Am J Neuroradiol	Intra- and Extracranial Solitary Fibrous Tumor of the Trigeminal Nerve: CT and MR Imaging Appearance.	Motoori K	放射線科
J Hepatobiliary Pancreat Sci	One hundred seven consecutive surgical resections for hilar cholangiocarcinoma of Bismuth types II, III, IV between 2001 and 2008.	Miyazaki M	手術部
J Surg Res	Interleukin-18 exacerbates pulmonary injury after hepatic ischemia/reperfusion in mice.	Takeuchi D	手術部
臨床外科	胆道癌手術のながれと手術助手の心得	宮崎 勝	手術部
今日の診断指針第6版	Ⅱ疾患編 3消化器疾患 胆嚢癌、胆管癌	宮崎 勝	手術部
肝胆膵	特集 座談会 膵癌の増殖・進展に関わるシグナル経路研究と臨床展開	宮崎 勝	手術部
がん治療レクチャー	I 臓器部位別の治療戦略 Q19胆道がん	宮崎 勝	手術部
Medical Imaging Technology	交差プロファイル法による4次元MR画像を用いた横隔膜機能画像の生成	榊田喜正	放射線部
Bone Marrow Transplant.	Unrelated cord blood transplantation after myeloablative conditioning in adults with advanced myelodysplastic syndromes.	Iseki T.	輸血部
Exp Hematol	FET family proto-oncogene Fus contributes to self-renewal of hematopoietic stem cells.	Iseki T.	輸血部
日本輸血細胞治療学会誌	日本輸血・細胞治療学会による「輸血業務に関する総合的アンケート調査」における細胞治療に用いる細胞の採取、処理、保管に関する2008年の現状	Iseki T.	輸血部
Lancet	Paroxysmal hip pain	Takada T	総合診療部
Internal medicine	Sickle Cell Trait as a Cause of Splenic Infarction While Climbing Mt. Fuji	Funakoshi H	総合診療部
Journal of Evaluation in Clinical Practice	Consultation behaviour of doctor-shopping patients and factors that reduce shopping	Ohira Y	総合診療部
日本集中治療医学会雑誌	難治性の血栓性血小板性紫斑病に対して多剤併用化学療法が有効であった2症例	鋪野紀好	総合診療部
J Clin Virol. 2011;51:68-72.	Multicenter prospective evaluation of a novel rapid immunochromatographic diagnostic kit specifically detecting influenza A H1N1 2009 virus.	Sato T	感染症管理治療部
Microbiol Immunol 2010;54:618-24.	Immunogenicity of a Monovalent Pandemic Influenza AH1N1 Vaccine in Health Care Workers of a University Hospital in Japan.	Sato T	感染症管理治療部
WHO-FIC network meeting report 2011	Disease evaluation with ICF and ICPC-2 for disease control	Fujita S	地域医療連携部
人工知能学会誌	SNOMED-CTとICD-11に見る医療分野のReady to Use Ontologg	藤田伸輔	地域医療連携部
訪問看護と介護	多職種協同のための共通言語としてのICF	藤田伸輔	地域医療連携部
Int J Infect Dis.	Comparison between concentrations of amphotericin B in infected lung lesion and in uninfected lung tissue in a patient treated with liposomal amphotericin B (AmBisome)	Nakamura Y	薬剤部
Clin Ther.	Super-acute onset of tumor lysis syndrome accompanied by hypercytokinemia during treatment of Hodgkin's lymphoma with ABVD chemotherapy	Suzuki T	薬剤部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Drug Metab Pharmacokinet.	Enhanced susceptibility of HLA-mediated ticlopidine-induced idiosyncratic hepatotoxicity by CYP2B6 polymorphism in Japanese	Ariyoshi N	薬剤部
J Atheroscler Thromb.	Kefiran Reduces Atherosclerosis in Rabbits Fed a High Cholesterol Diet	Kitada M	薬剤部
Thromb Res.	Application of Akaike information criterion to evaluate warfarin dosing algorithm	Ariyoshi N	薬剤部
Drug Metab Pharmacokinet.	Six novel single nucleotide polymorphisms of the steroid sulfatase gene in a Japanese population	Ariyoshi N	薬剤部
YAKUGAKU ZASSHI	千葉県病院薬剤師会における精神科専門・認定薬剤師講習会実施の試みと参加者の背景及び専門・認定薬剤師取得に際しての問題点に関するアンケート調査	築地茉莉子	薬剤部
医薬品情報学	医薬品の服用時期および最大投与量の設定根拠を迅速に検索できるデータベースの構築と疑義照会への活用	新井さやか	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	薬剤師の観点から見たNutrition Support Team活動の現状と問題点	新井健一	薬剤部

計250/250

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 宮崎 勝
管理担当者氏名	企画情報部長 高林 克日己 薬剤部長 北田 光一 医療安全管理部長 岡本 美孝 総務課長 塩崎 英司 医事課長 阿尾 守己

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科 企画情報部 及び薬剤部 医事課（診療情報管理係）	診療録は、入院・外来別に一患者一ファイル方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三の第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部及び医事課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び医事課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部及び医事課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部及び医事課
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び医事課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染症管理治療部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び医事課
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び医事課	

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染症管理治療部及び医事課	
	第一条の十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染症管理治療部及び医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染症管理治療部及び医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染症管理治療部及び医事課	
		第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部及び薬剤部
			従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
			医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
		第二十一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
			医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
			従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター			
体制の確保の状況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 宮崎 勝		
閲覧担当者氏名	総務課長 塩崎 英司	管理課長 一條 敬一	
	経営企画課長 宮崎 裕幾	医事課長 阿尾 守己	
閲覧の求めに応じる場所	会議室		

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	90.1 %	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日	
算出根拠 A: 紹介患者の数			18,032	人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			12,071	人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			2,291	人
D: 初診の患者の数			23,878	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 医療機関における安全管理に関する基本的考え方 医療機関に係わる安全管理のための委員会等その他医療機関内の組織に関する基本的事項 医療に係わる安全管理のための職員研修に関する基本方針 医療機関における事故報告等の医療に係わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 医療事故発生時の対応に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針を含む） 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容： 安全管理体制の整備、安全管理のためのマニュアル整備 インシデントからの改善のための方策の検討 医療安全に関する教育及び職員研修の実施 院内における医療安全への取組みへの啓蒙</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容： BLS（AEDの使用法を含む）研修 医療事故防止セミナー（2回）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 「他施設から学ぶインシデント事例集」として、医療事故防止セミナーにおいて注意喚起を行い同内容を医療安全管理部のHPに掲載している。 各部署での医療安全対策についての取組みを「BEST PRACTICE」として募集し、優秀な取組みに対して表彰を行っている。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（4名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員： 専任（3）名 兼任（18）名 ・ 活動の主な内容： インシデント報告の収集・分析・具体的な改善策の提案及び現場へのフィードバックに関すること 医療安全のための研修の企画・運営に関すること 医療事故等の原因究明・関係する記録等の記載の確認・指導に関すること 医療事故防止・病院倫理委員会の庶務及びその他医療安全に係わる連絡調整に関すること その他医療安全対策に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容： 病院感染対策に関する基本的考え方 病院感染対策のための委員会 病院感染及び感染症に関する情報の共有 病院感染発生時の対応 病院感染対策のための研修等 基本指針の公表 マニュアル等の整備 その他の病院感染対策（国立大学病院感染症協議会及び千葉院内感染地域支援ネットワークとの連携）</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容： 院内講習会、針刺し対策、抗菌薬についての検討、インフルエンザワクチン接種、内視鏡ラウンド、蓄尿・尿カテーテル調査、リンクドクター・ナース会議、病原菌報告、職員のウイルス抗体・ワクチン接種、新型インフルエンザ対策、実習生の感染管理教育、多剤耐性菌対策、蓄尿の減少、サーベイランス結果と対策（ベンチレータ関連肺炎、術後感染症、カテーテル関連血流・尿路感染症）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容： 標準予防策 「患者に触れる前に手洗いを」講師 感染症管理治療部教職員 職業感染予防策 「針刺し事故を起こさない！発生時の迅速な対応とは？」講師 感染症管理治療部教職員 多剤耐性菌の対応について 講師 救急部・集中治療部医師 多剤耐性菌の特徴について 講師 検査部検査技師、感染症管理治療部教職員</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各部門にリンクドクター・ナース・スタッフ（メーリングリストで直接連絡） インフルエンザ発生時の原因分析・対策立案・職員等への周知及びワクチン接種、 ICTによる院内巡視（週 1 回） ICTによるMRSA、緑膿菌、ジフィシル菌、血流感染のチェックと指導（最低週 1 回）</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の主な内容： 抗がん剤の取扱いについて（兼：研修医ガイダンス） 副作用情報の収集体制とその利用（兼：医療事故防止セミナー）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)・無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手続きに基づいた薬事委員会の開催及び適正購入の実施 医薬品の購入及び麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 実施状況の確認 等</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直し及び医薬品安全管理のための業務手順書の順次改訂と院内への周知徹底 医薬品安全使用のための情報提供方法の工夫（薬事委員宛のメールによる通知、ホームページへの掲載、使用患者・処方医を特定し個別に情報提供、処方入力時の注意喚起メッセージ表示、オーダーリングシステムからも参照可能なイントラネットを利用した情報提供）</p>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 16回
・ 研修の主な内容： 人工呼吸器・輸液・シリンジポンプ・閉鎖式保育器・血液浄化装置・人工心肺及び補助循環装置・除細動器・放射線装置の安全使用講習会 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ((有)・無) ・ 保守点検の主な内容： 生命維持管理装置 (人工心肺および補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置・徐細動器・閉鎖式保育器・放射線装置) 当院で定めた機器 (輸液・シリンジポンプ・フットポンプ・生体情報モニタ 等)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 機器管理を主たる業務とする臨床工学技士を配置し、院内の安全管理部員を兼任とすることで、院内で起こった医療機器に関するインシデント等に早急に対応、安全管理部との共同配信文書として院内へ配信することができる。 また、全体で行う院内講習会のほか、インシデント発生等の際には原因を究明し、部署別・事例別の講習会を開催し、再発防止に努めている。	